

網 領 一、われわれは自己の研鑽につとめ、英知を養う。 一、われわれは社会に奉仕し、お互いの友愛を深める。 一、われわれは団結して中小企業の発展を図る。

<平成15年度テーマ>

人が人を考える、青年中央会「全員参加」



<平成16年度テーマ>

「挑 戦」

## 会長の1年を終えて



## 新会長、初心表明!



瀧本浩志

平成15年度・会長



岡本安量

平成16年度・会長

30周年という節目になる年度に、我々の青年中央会と会員の繁栄を考えたい! もっと繁栄出来る会の活動がないのか? もっと自分達に役立つ活動がないのか? 会員が丸となり、鳥取県中小企業青年中央会の新しい行動指針を見つけ出すことに取組んだ1年だったと思います。

今年度は30周年事業の準備の年として役員の方々はもちろんの事、東部青年中央会の皆さん大変お疲れ様でした。さて、今年度は全員参加を呼び声に、エモ・ショナルブランドに学び「感動のある青年中央会」をキーワードにして、どんな青年団体になれば感動が得られるのか? 今の時代に合った魅力のある会になるのか? 周年事業を構築すると同時に会の意識改革・源流強化を含めた周年事業の取り組みを検討する中で、「これは県全体で取組みたい!!」県全員で考えよう。そこで、現会員の考える青年中央会への期待や思いを引き出していく手法としてCIを活用していくことを提案させていただきました。年度当初には市位県会長、浜田会長、中井会長と何度も何度も意見の擦り合わせをさせていただきました。30周年の節目として会の新しい行動指針になるもの? ビジュアルを新しくしよう? マークなどを変えようなど? いろんな意見が交わされるなか、全員の意見を聞く為のキャッチボールをしようということでアンケートを実施致しました。結果はいろんな意見がありましたし、様々なデータを収集することもできました。会員の意識傾向を分析するデータとしても今後の活動に役立つアンケートになったと思います。例えば、英知、友愛、団結、青年中央会って何なの? こんな意見があることに驚愕しました。これが弾みになり青年中央会をひとりで表現できる言葉を創ろう! 30周年からの行動指針となる「キャッチフレーズを創ろう!」ということになりました。

県全員で創り上げたキャッチフレーズが新しい会の行動指針「時代に挑み、次代を創る。」

どういう会になれば魅力ある会になるのかというアンケートデータをもとに、会員から募集して決定したキャッチフレーズ! 「時代に挑み、次代を創る。」

意味は、網領である、英知・友愛・団結のキーワードを基盤に「時代を見据え、挑戦・創造を繰り返し、さらには、一歩先を見つめ歩んでいく当会の姿を意味しています。」全会員が青年中央会へ求める未来像が詰め込まれたアンケート結果が集約されたキャッチフレーズです。

このキャッチフレーズから始まる、エモ・ショナルブランド・感動のある青年中央会とは「自然体で「いい!好きだ!」と心から言える!そして、深く心に響く真のブランドとして育てていきたいですね。「ロジックとエモーション。右脳と左脳。思いだけでは創れない、形だけでは挑めない。」本物の起業家が集う青年中央会を皆さんで育てていきましょう。

30周年は現会員と先輩方の誇りである。地域の皆様へは感謝の周年である。最後になりますが、30周年を迎えられるのは先輩方大変な努力があった事と、地域の皆様にも応援していただいているから30周年を迎えられるという感謝の気持ちを忘れないでください。現会員の皆様、今後も一緒にがんばっていきましょう。

新しい年度が始まりました。と、同時に30周年というステージの幕も上がりました。青年中央会も30周年を迎え、大きな節目の大事な1年間であると思います。周年の年は、9年間の集大成、期を熟した青年中央会を発表、見て頂く年と考えておりましたが、変化の早いこの時代に止まっておかず、10年度を敢えて0年度と考え、新しい10からのスタートの年にしたいと思います。30歳になった青年中央会をどうしていくべきか。

9年間を振り返りながら考えました。そこで着目したのが「人」という所です。21世紀の始まりに共育元年「共に育つ」から始まり、「人創り・地域創り・人育て・人材創り」と年を重ねてまいりました。そして昨年は意識改革にもなる青年中央会のキャッチフレーズを作りました。この年を重ねて築き上げられた人・会員と共に本年度のテーマは「挑戦」という二文字を掲げます。

ここ近年の景気、経済動向を見ていると、この長引いた不況も回復の兆し有り、と耳にはしますが中々実感できないのが現状ではないでしょうか。そこで改めて自分たちの足元から見直そうと考え、青年中央会の「網領・キャッチフレーズ」のもと、中小企業人らしくビジネスまたは起業家精神にこだわり、中小企業の団体として、企業とは・組織とは・経営とは、などを原点から考え取り組んでいきます。

そして、サブテーマとしまして「全員参加で完全燃焼」をあげております。

本年度は記念式典を皮切りに、周年事業をいくつか行います。周年事業を行うのも、更なる青年中央会を築くのも、全てにおいて会員の力が必要でありまして、その取り組み一つ一つに会員全員で全力投球で行きたいと思っております。何事に対しても一生懸命になる気持ち。目標に向かい全員が一つになり、強い意志を持ち続け取り組みやり遂げた後の喜び、達成感を会員全員で感じたいと思っております。そのような事を行ううちに「我々は青年中央会に入ってよかった」とか「青年中央会の会員でよかった」更には「青年中央会に入るにはどうすれば良いの?」というような声が聞けるよう、今年度0からのスタートで更なる青年中央会、青年中央会ブランドの構築に挑戦します。

1年間、皆さんと共に歩んで行きたいと思っておりますので、どうぞよろしくお祈りいたします。

# ご卒業おめでとうございます。 ございます。

## 6月卒業 例会



### 『6月例会を終えて』

どの委員会の場合もそうだと思いますが、今年度開催されます当会誕生30歳の記念すべき行事の準備など各委員会活動も大変だったようですが、1年の締め括りの例会という事で最後まで気を抜く事が出来なかった当委員会では、普段の例会とは違い例会の流れに沿って何回となくリハーサルを行い、当日の体制を整えてきました。

成功、不成功はそれぞれあったと思いますが、今回の例会を企画実行できた事は、中央会活動に貢献出来たような気がしています。また忘れてはならないのは会員皆様のご協力があったこそだと思います、ありがとうございました。

広報委員会 委員長 山本典浩

## ご苦労様でした



杉本 守邦 氏

杉本守邦土地家屋調査士事務所



森田 郁夫 氏

有限会社 開拓



釜田 幸祐 氏

有限会社 釜田組



澤 裕一 氏

サンワールドツアー



澤本 亮爾 氏

株式会社 コダマサイエンス  
鳥取営業所



伊藤 達朗 氏

有限会社 巧広告



小谷 滋 氏

大宝関西株式会社 鳥取工場



本荘 弘幸 氏

本荘歯科医院



# 新年度・「岡本年度」がいよいよスタート!

## 新役員 の抱負

副会長

勝原 章

ナレッジマネジメント委員会

30周年という節目の年に副会長という大役をさせて頂くことになりました。

また30周年記念式典の準備にかかわらせて頂き、益々当会の歴史と伝統のおもさを感じるとともに、これからの時代を切り開く知恵と挑戦する勇気の大切さをあらためて認識出来たように思います。

会長の今年度のテーマ「挑戦」サブテーマ「全員参加で完全燃焼」は、私自信の目標と心に刻み、皆様と力を合わせ素晴らしい1年になるよう精一杯頑張りたいと思います。何卒よろしくお願い致します。

副会長

金本勝彦

ドリームゲート委員会

昨年に引き続き副会長をさせて頂くことになりました。昨年度、県の統一事業キャッチフレーズづくりに参画し、ひとつの結果を残せたことは自分自身にとって貴重な体験でした。そして今年度! 30周年年度、各種行事等が目白押しの上半期、好スタートが切れるよう精一杯努力していきたいと思っています。少しずつ「変わろう!」としている当会を微力ながら支えていきたいと考えています。10年に一度のこの年を爽りある年にするために...

副会長

井上法雄

情報・コーディネート委員会

平成16年度は、東部青年中央会の30周年の節目の新しいスタートの年であり、新しいスタートを切るために平成15年度は、瀧本直前会長の下、準備をしておりました。今年度岡本会長の方針である『ゼロスタート』そして新しいレベルのゼロというスタート台に乗る為に、15年度の前役員による新しい東部青年中央会を目指す為の大きな積み重ね、すばらしい改革がありました。次代を創る新しい東部青年中央会としての『16年度岡本会長方針である挑戦』には、二つの意味での挑戦があると思います。一つは未知への挑戦、もう一つは既知への挑戦、サブテーマである『時代に挑む』まさにこれが『既知への挑戦』であり、『次代を創る』が『未知への挑戦』だと考えます。30年の歴史を踏まえ新しいステップに踏み出す。瀧本直前会長より新しいレベルのゼロという基礎を頂き、新岡本16年度会長の下、新しい東部青年中央会が新しいレベルへの順調なスタートを切れるよう、また、『16年度岡本会長の運営方針である全員参加で完全燃焼』の新しい東部青年中央会を目指して副会長として尽力していきたいと考えております。

副会長

高橋勝美

アピール委員会

今年度、30周年にあたり、様々な周年事業が予定されています。会員皆さまが、本会に加入入会していることの喜び、感動のひとつひとつを、一人でも多くの皆さまに、岡本会長の本年度テーマにそって、会長の思いを伝達していくようガンバリたいと思います。そして、30周年にあたり、キャッチフレーズにそって皆が、『時代に挑み』日々、自己の研鑽に努め、英和を養い、団結して、これからの本会の歴史を『次代を創る』創っていきましょう。

一年間、よろしくお願い致します。

副会長

谷口昌弘

C I委員会

時代に挑み、次代を創る。

東部青年中央会の新しい時代に向けての大切な年にしたいと思っています。昨年より今年、今年より来年が進化していること。1日1日が昨日とは違っていること、同じ1日でも何かが違う、其の積み重ねが気持ちが大切だとも思います。一人の力では限られています、皆さんとともに頑張りたいです。

1年間よろしくお願い致します。

## 平成16年度・委員長

ドリームゲート委員会

委員長

山根 徹也

副委員長

千馬 高広

本年度、ドリームゲート委員会の委員長を務めさせて頂くことになりました。委員会ではビジネスの創出をテーマに「夢を語りあい、実現する」活動を行っていきます。利益実感感を供与し合え、そのプロセスが会員の皆さんの会社にフィードバックできればと思っています。まずは、夢を語るための雰囲気作り! 明るく、楽しく、活発に、そして常に前向きに1年間やっていきたいと思っておりますので、金本担当副会長をはじめ委員会の皆さん、どうぞよろしくお願い致します。

ナレッジマネジメント委員会

委員長

恩田 利彦

副委員長

小谷 和宏

今年度ナレッジマネジメント委員会の委員長をさせて頂くことになりました。恩田です。

あまり聞き慣れない委員会名ですが、一人一人の知識を集め、知識の共有化して創造性を向上させるという経営技法を学習し、実践を行うことにより質の高い情報活用を目指します。

また30周年という記念の年に役員として参加できる事を大変光栄に思い岡本会長の下、一生懸命がんばりたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

コーディネート委員会

委員長

安木 彰規

副委員長

川口 孝治

コーディネートとは物事を調整しまとめると言う意味があります。すなわち会の情報を取りまとめデスクネットというパソコンソフトを使い青年中央会の情報がいつでも取り出せるようにすることを目的としています。ちなみに情けに報いると書いて情報です、情けのない人の所には情報はこないようです、その昔、情報で天下を取った織田信長は実は情け深い人だったのかもかもしれません? パソコンと言う機械を使用し情報と言う温かい心を全会員の皆さんに伝えて行けるよう頑張りたいと思います、どうぞ宜しくお願い致します。

C I委員会

委員長

大田 哲

副委員長

清水 隆文

本年度C I委員会の委員長をさせて頂きます大田です。よろしくお願い致します。

さて、本年度第2期C I計画がスタートしました。昨年30周年に向けC I委員会できた会員の多くが何それと言われた方が多かったと思います。その様な中『時代に挑み、次代を創る』と言う東部・中部・西部共通のキャッチフレーズが出来ました。第一期より4つの挑戦』を引き継ぎ本年はそれに対して肉付けをして実践していく予定です。

また30周年が終わり40周年に向けてスタートの年でもあります。日本が江戸時代から現代に一度に変わったのは有りません。それと同様、先人(卒業生の方たち)の熱い思いがありその時代にあった方向に青年中央会も変わって来たと思います。私たち現会員、これから入会する方のために何の為に会に入ったか意義がある方向に出来たらいいなと思います。

アピール委員会

委員長

鳥越 宣孝

副委員長

福井 康史

皆さんこんばんは! 新年度をむかえましたアピール委員会は、東部青年中央会の名を世にアピールすべく、今年もやります。

来月には早速30周年事業の一つでもある「第4回親子ふれあい24時間スペシャル」を開催いたします。たいぶんおなじみになってまいりましたが、会員皆様のご協力あつてのイベントです。また春にはフラワーフェスティバルスペシャルバージョンも開催いたします。力いっぱい知恵を絞って、汗をながしてやっていきます。宜しくお願い致します。

情報委員会

委員長

平井 義一

副委員長

國岡 貴昭

新入会員のスピーチで井の中の蛙、大海を見にやって来ました。と、挨拶してから今年の10月で、まる2年が来ようとしています。当時は、誰がどのように、どのような仕組みで中央会を運営しているのか又、何をしたらよいのか全然わかりませんでした。まさに自分とはずむ世界が違う、人種が違う大海でした。行動力、話術、統率力、優れた人がたくさんおられます。最初は少しへこみましたけど、自分なりに生きる事しか知らぬ私は気づいたら今期、情報委員会の委員長です。これから私の挑戦が始まります。

# 鳥取県東部中小企業 青年中央会の 市長への提言



平成16年度総務委員会担当の3月例会に当たり、「私たちの働く町をよくしよう」というテーマので、参加会員により議論が行なわれ、多くの意見が出されました。意見収集後西尾委員長を中心とし、14点の提言としてまとめ6月22日竹内功市長へ回答を求める提言書として提出いたしました。

提出は市長室応接間にて行なわれ、中央会を代表し瀧本会長以下、総務委員会数名で直接市長へ手渡しました。当初予定では懇談は15分程度でしたが、市長は提言1つ1つに対し丁寧に思いを答えられ、参加者も活発に意見を出し、提出し回答を待つという形式的なものではなく、1時間以上に及ぶ意見交換会となりました。また会の最後には市長よりもっと中央会と議論の場を設けたいとの提案があり、中央会に対する期待を伺うことができました。今後地方分権が進み、地方行政にも官民一体となった取り組みの重要性が謳われる中、中央会としても鳥取市と連携をとっての活動の盛り上げも必要ではないかを感じる事の出来る有意義な会でありました。



提出した提言書につきましては、後日それぞれの市役所担当課より回答が出される予定であり、今回掲載し会員各位にご覧頂く予定でしたが、回答が間に合わなかったため、ご容赦頂きたいと思っております。

竹内市長におきましては、議会閉会後の大変忙しい時期にもかかわらず、長い時間を割いて頂き感謝を表するとともに、今後中央会ともますますの連携を取って頂ける様期待するところでございます。

## INFORMATION

### 平成16年度役員会・例会・四役会 / 日程

役員会 ニューオータニ	例会 ニューオータニ	四役会 座楽
<b>平成16年</b>		
7月1日(木) 新旧役員会	15日(木) 30周年記念式典・鶴の間	22日(木)
8月5日(木)	21日(土)・22日(日) 親子ふれあい・鳥取砂丘子どもの国	26日(木)
9月2日(木)	17日(金) シリーズ講演	22日(水)
10月7日(木)	15日(金) シリーズ講演	28日(木)
11月4日(木)	12日(金) シリーズ講演	25日(木)
12月2日(木)	9日(木) シリーズ講演	22日(水)

### 平成17年

1月6日(木)	20日(木) 新年例会・鶴の間	27日(木)
2月3日(木)	17日(木)	24日(木)
3月3日(木)	17日(木)	24日(木)
4月7日(木)	17日(日) フラワーフェスティバル・お花畑ゾーン	28日(木)
5月6日(金)	19日(木)	26日(木)
6月2日(木)	16日(木)	23日(木)

